

一般演題（口頭発表）プログラム

▼第2日 2021年6月27日（日）

09:30-10:20 (Zoom Room 1)

口頭セッション1 当事者ネットワーク・終末期の意思決定		座長：深井 穂博（深井保健科学研究所）
O1-1 (研究)	表現を通して巻き込まれるネットワーク	杉本 洋 新潟医療福祉大学
O1-2 (研究)	終末期を想定した際の療養先の決定に対する自律性の関連要因 —岩手県における文化的自己観に着目して—	梅野 華乃子1), 大園 康文2), 小野 充一3) 1)早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程 2)目白大学看護学部 3)早稲田大学人間科学学術院

10:25-11:40 (Zoom Room 1)

口頭セッション2 障害者支援・障害者と情報		座長：藤田 裕一（神戸学院大学）
O2-1 (研究)	高齢知的障害者の健康状態の推移に関する研究 —心身機能レベルと活動レベルからのアプローチ—	竹林 和子 社会福祉法人新居浜愛育会
O2-2 (研究)	医療機関で雇用される障害者への支援のありかたについて	二階堂 名奈1), 坪倉 繁美2) 1)伊藤病院 2)国際医療福祉大学大学院
O2-3 (研究)	ユーザー生成メディアにおける「障害」に関する情報探索研究 —Yahoo知恵袋投稿の計量テキスト分析—	岩隈 美穂1), 舟木 友美2) 1)京都大学 2)摂南大学

11:45-13:00 (Zoom Room 1)

口頭セッション5 感染症・リスクマネジメント・疾病防御率		座長：吉岡 隆之
O5-1 (研究)	Covid-19下の保健行動変容支援における動機付け面接の有用性	瀬在 泉 防衛医科大学校医学教育部看護学科
O5-2 (実践)	アナログによる災害時のリスクマネジメント —救助用および防災用コミュニケーションブックの作製—	小林 美津江1), 村岡 潔2), 田中 尚寛3) 1)佛教大学 2)岡山商科大学 3)田中手帳株式会社
O5-3 (研究)	大数による疾病防御率の研究 (I) —相対比較に対する絶対比較の意義とマクロ医療経済—	村岡 潔 岡山商科大学

09:50-11:05 (Zoom Room 2)

口頭セッション3 看護やケアにおける質的研究アプローチ		座長：岡 美智代（群馬大学大学院）
O3-1 (研究)	経験の積み重ねで今の生活スタイルを送る —医療的ケア児の母親の“母親なりのケア”—	小坂 素子 神戸女子大学
O3-2 (実践)	地域包括支援センター看護職の地域診断の視点 —質的データ分析—	近森 栄子, 宮田 さおり, 安藤 仁美, 西村 潤子 園田学園女子大学人間健康学部人間看護学科
O3-3 (研究)	SCAT分析による精神科看護師が認識する精神科看護の専門性	酒井 美子1), 関根 正2) 1)高崎健康福祉大学 2)獨協医科大学

11:45-13:00 (Zoom Room 2)

口頭セッション4 語り・スピリチュアルケア		座長：中川 晶（京都看護大学、なかがわ中之島クリニック）
O4-1 (実践)	「色紙型聞き書き」介入の影響 —1事例の実践報告—	向井 菜津実1), 岡 美智代2) 1)群馬大学大学院保健学研究科前期博士課程 2)群馬大学大学院保健学研究科
O4-2 (研究)	良くしようとすることの逆説 —パターンリズムから対話を重視する診療に変化した精神科医の 語りの考察—	澤田 千恵 県立広島大学
O4-3 (研究)	東日本大震災で支援を行う宗教家の倫理的成長と実践のプロセス	山田 牧子 東洋英和女学院大学大学院